

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	40	事業名	平成こども塾体験学習事業		担当課		みどりの推進課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		9-4-1-4 平成こども塾体験学習事業		
			(中事業名) 平成こども塾体験学習事業		決算書ページ		225	～	225
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち	3	みんなで未来へつなぐ 緑はまちの宝物			
		政策	3	子どもの健やかな成長を支える環境の整備	1	万博理念を継承した自然との共生			
		施策	(1)	子どもが主体的に学ぶ機会の創出	(2)	自然に愛着を持つ地域づくりの推進			
	その他	開始年度	令和元年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	平成こども塾条例						
		関連計画	平成こども塾マスタープラン、里山プラン、里山基本計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数：      通常20名 【事業内容】  自然とのふれあい、体験を通じた環境教育、地域や人との交流、食体験等の機会を通じて学び、生きる力を育み満足度を計ります。		【アクションプラン指標】 (2024年度まで) 平成こども塾による体験学習事業の実施回数【単年】 (2025年度から) プログラムアンケートで参加者のプログラム満足度が4段階評価の「とても良かった」が8割を超えたプログラム数の割合  【その他の指標】		平成こども塾のプログラムに参加したい人が増える。  (成果指標名)  参加者の満足度		大事業共通  健全な児童・生徒を育み、身の回りの環境を意識して人と自然の共生に配慮できる人が増える。	

活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
活動指標	1	【アクションプラン指標】 (2024年度まで) 平成こども塾による体験学習事業の実施回数 【単年】	回	基準値	195	目標値	204				
				目標値	204	実績	200				
	2	【アクションプラン指標】 (2025年度から) プログラムアンケートで参加者のプログラム満足度が4段階評価の 「とても良かった」が8割を超えたプログラム数の割合	%	基準値	-	目標値	-	80以上	80以上	80以上	80以上
				目標値	80以上	実績	-				
	3			基準値		目標値					
				目標値		実績					
	4			基準値		目標値					
				目標値		実績					
エピソード	事業開始 の背景	平成18年4月に長久手町（現市）平成こども塾が開館し、近隣の里山（竹林等）の整備を市民と共に進めながら、小学校や市民ボランティア（平成こども塾サポート隊）と連携、他市町村や環境団体、近隣の大学他と連携、プロの環境教育団体等への委託を行い「体験」をキーワードに体験型プログラムを実施してきた。									
	各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由										
	R 6	平成こども塾サポート隊事業及び学校連携事業において、講師の高齢化が課題となっているが、令和6年度は、平成こども塾サポート隊に高校生をはじめ6人加入した(目標人数は3人)。今後も、「定着」してもらえるよう我々スタッフからの挨拶の励行、話しを伺う等のコミュニケーションを日々取るよう心がける。				R 7					
	R 8					R 9					

Ⅲ事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）

成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
	参加者の満足度		%	4 年度	▶	5 年度	▶	【現状】 6 年度	▶	7 年度	▶	8 年度	
				80		79		79		80		85	
	成果達成状況						指標目標値の根拠						
	B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						体験型環境教育事業を行う施設である平成こども塾は、その成果を図るには参加者の満足度をもって指標とすることが適切と判断するため。 注）上記のR3年度の数値に関しては、満足度4段階中上位2つを集計した数値だが、かなり高い満足度となったため、令和4年度からは新指標として満足度4段階中上位1つ（とても良かった）を集計した数値へ変更した。					
	評価の理由、分析												
	コロナ禍により回数や参加人数の増加を追う時代ではなくなり、より安全に、より満足度の高いものを志向する時代になったと考えるが、プログラム実施回数は、200回実施した。計画通り推移している。												
加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
	B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止	市民ボランティア（平成こども塾サポート隊）による委託プログラムが高齢化により継続が困難になることが見込まれるため、委託先を民間の専門事業者へ変更し、その補助をサポート隊が行う形態を模索する。それにより参加者の満足度も高まると考える。										
	改善ポイント												
	（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）												
	見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度	
	1	委託プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	講師を民間専門事業者に委託していく数を増やす。								令和10年度	
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止											

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年間の 推移	(単位：千円)	R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度			
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			5, 320	4, 975	5, 320	5, 080	5, 320			
		理由			特定財源	合計額	155	159	186	188	218		
		プログラム内容は変わるが、体験学習事業の枠組みは現状維持とする。 ただし、プログラムの一部をサポート隊から専門業者へ委託化した場合、予算が発生する可能性がある。				(内 国費)							
						(内 県費)							
						(内 諸収入)	148	154	179	181	213		
						(内 その他)	7	5	7	7	5		
		積算額			一般財源		5, 165	4, 816	5, 134	4, 885	5, 102		
		R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞											
		平成こども塾創造スタッフ委託 2, 090千円（1, 976千円）											
平成こども塾講師報償金 3, 230千円（3, 344千円）													